

## 総務建設経済常任委員会次第

日時；令和2年8月24日（月）

午後1時00分～

場所；第1委員会室

1. 開 会

2. 議 題 閉会中の継続調査（所管事務調査）について  
「吾妻山公園の活性化について」  
・提言書案及び報告のまとめ

3. 閉 会

# 写

令和2年9月29日

二宮町議会議長

野地洋正 殿

総務建設経済常任委員会

委員長 二宮節子

総務建設経済常任委員会の閉会中の継続調査について

本委員会の下記調査事件について、二宮町議会会議規則第72条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

## 記

- 1 調査事件 吾妻山公園の活性化について

令和2年9月29日

二宮町議会議長  
野地洋正 殿

総務建設経済常任委員会  
委員長 二宮節子

### 閉会中の継続調査報告書

調査事件「吾妻山公園の活性化について」について、下記の通り報告する。

#### 1. 第2回定例会以降の継続調査について

- ・調査研究会

6月22日（月）、7月1日（水）、7月22日（水）の3回。

うち7月1日には町（都市部職員）に出席要請。

- ・委員会開催

8月24日（月）提言書及び報告のまとめ

#### 2. 経緯

本委員会は、閉会中の所管事務調査事項の設定当初より、町に提言を行うことを視野に、調査研究を進めてきた。

吾妻山公園への来場者数を増やし、町内での消費につなげるためには、車両乗入れが可能な道路整備という意見も出されたが、社会情勢に鑑み、実現可能な対策を段階的に講じていくべきであるという点で、委員間ではおおむね合意した。6月定例会閉会后、実効性のある提言とするため、都市部職員からの聴取を行いながら文面作成を行い、別紙のとおり提言書をまとめた。

現委員会では提言書を含む本報告をもって、本件の継続調査を終了する。

以上

## 吾妻山公園活性化についての提言書

吾妻山の山頂にある吾妻山公園は、町営公園として昭和62年に開園して以来、園内にレストランや売店をつくらず、遊具の設置状況に変遷はあるものの、花や木だけでなく空・山・海の眺望が、訪れる観光客を魅了してきた。

吾妻山公園は美観に加え、年中無休かつ入場無料であり、駅にも近く気軽に訪れることができることが人気の要因となっている。近年は早咲きの菜の花と富士山と相模湾が同時に楽しめる景色が評判となり、多くの観光客が訪れている。昼前後の来園者数が最も多く、登る前に昼食を買い求めたり、登山前後に町内を散策しながら地元商店に立ち寄ることは自然の流れとなり、町の経済に大きな影響を及ぼしている。

しかし、現在、吾妻山公園の美景を堪能できるのは健脚の持ち主に限られている。一方で町内外の方からは、道路や移動手段がより整備されるのであれば、ぜひ吾妻山公園に行きたいとの声があり、高齢化など社会背景をふまえた公園整備をしていく必要がある。頂上付近までの道路を整備し、高齢者や障がい者の方を指定車両で移送できれば、観光客のすそ野が広がり、経済効果のみならず公園としての価値を高めることにつながる。

なお、景観の維持や動線整備においては、土地所有者との調整や来園者の安全確保を図ることが必要であり、これをふまえて当委員会では、以下提言するものである。

- 1 共生社会に即した吾妻山公園とするため、高齢者や障がい者など誰もが頂上に訪れることができるよう環境を整備すること。
- 2 空・山・海の眺望を保持するよう樹木の剪定をすること。
- 3 環境整備推進のために公園用地の借地解消に向け、前向きに取り組むこと。

以上